

第5学年1組 学級活動（3）指導案

- 1 題材 「ステップアップ！～委員会活動～」
 学級活動（3）
 イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

2 題材について

（1）児童の実態

事前に本学級で行ったアンケートによると「委員会活動は、何のためにおこなっているのか」については「将来の自分のため」や「みんなのため」など前向きな回答が多く、自分なりに委員会活動に対しての考えをもっている児童が約60%いた。しかし、「今までの委員会活動を振り返って感じていること」については「もっと新しい取組を行いたかった」や「何回か活動を忘れてしまうことがあった」などと反省を回答している児童が多かった。この回答から、活動の大切さは自分なりに分かっているが、思うように活動ができていない場面があることがうかがえる。また、各委員会で行っている様々な新しい取組への質問である「取組をしているときの気持ち」については、「みんなが楽しんできてうれしい」など児童全員が肯定的な考え、充実感を得ている回答をしている。その反面、「取組の準備をしているときの気持ち」については「面倒くさい」などの消極的な回答も見られた。以上のことから、委員会活動の大切さについては理解していたり、役割を一生懸命に果たしていたりするが、新しい取組を考えたり、自分の役割を全うしたりすることに課題があり、この部分を改善することで委員会活動をさらに向上させることができると感じている。

（事前アンケート）

○委員会活動の役割を忘れずに行っていますか。 ・忘れずに行っている ・少し忘れる
○委員会活動をしていて良かったことやうれしかったことはありますか。 ・ある ・少しある
○具体的な理由 ・活動していたら感謝された。 ・活動がうまくできたとき。 ・活動を行う際に頼りにされた。 ・失敗したときに6年生がフォローしてくれた。
○新しい取組（健康ラリーなど）の準備をしているときはどんな気持ちでしたか。 ・みんなががんばって準備しているから早く取り組んでももらいたい。 ・完成がとても楽しみ。 ・みんなに楽しんでももらいたい。 ・たくさんの人たちに参加してもらいたい。 ・めんどくさいな、やだな。
○準備をした新しい取組を全校児童に取り組んでもらっているときはどんな気持ちでしたか。 ・頑張ってよかった。 ・喜んでくれてうれしいな。 ・楽しんでもくれたかな。
○委員会活動は今後、自分のどんな役に立つと思いますか。 ・人前など話すときに勇気を出せる。 ・仕事で表や書類を作るのに役立つ。 ・自分の役割をしっかりとやるようになる。 ・がんばる習慣が中学校の係などで役立つ。
○今までの委員会活動を振り返って感じていること ・何回か活動を忘れてしまうことがあった。 ・もっと新しい取組を行いたかった。
○委員会活動は何のために行っているのでしょうか。 ・全校のみんなのため。 ・自分が成長するため。 ・人との協力や連携のため。 ・自分たちの未来のため。 ・自分の仕事に責任をもつため。 ・全校のみんなに楽しんでもらったり、気持ちよく生活してもらったりするため。 ・分からない。

(2) 題材設定の理由

本題材は、小学校学習指導要領 特別活動 学級活動「(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現」の以下の内容を受けて計画した題材である。

イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

清掃などの当番活動や係活動などの自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。

学習指導要領解説特別活動編では、この内容において育成を目指す資質・能力の例として「自己の生活の課題について考え、自己への理解を深め、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合っ

て意思決定し、自己のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動することができるようにする。」とある。

本学級では、新しい取組を考えることや役割を全うすることに課題があるということが分かった。そこで本時では、委員会活動において自分の役割を果たすことの意義を共有し、委員会活動を活発に行っていくことでよりよい学校にしていくことや自己の成長につながっていくと理解させることが大切である

3 研究主題とのかかわり

研究主題・研究仮説は以下の通りである。

研究主題

「自主的、実践的に活動し、生きる力を身に付けた児童生徒の育成」
—主体的・対話的で深い学びの実現を通して—

研究仮説

- (1) 学級活動等の集団活動において、集団の実態を踏まえ、一人一人の児童生徒の課題意識や役割分担を明確にし、活動の過程を具体的につかませ、主体的に活動に取り組ませれば、児童生徒の集団への帰属意識や活動での達成感が高められ、自主的、実践的態度が育つであろう。
- (2) 学級活動等の集団活動において、課題の設定・確認、解決方法の話し合い、解決方法の決定、決めたことの実践、振り返りまでの一連の過程を「実践」と捉え、育成すべき資質・能力を明確にした上で意図的・計画的に指導に当たれば、深い学びにつながるだろう。

・研究の視点 (1) 児童生徒の自主的、実践的な活動に向けた学習課題の設定や学習過程の捉え方

本校は小規模の学校であるため、1つの委員会の人数が5～6人と非常に少数である。そのため、一人当たりの役割が多くなり、事前のアンケートの委員会活動のイメージを問う質問に対して「面倒くさい」などとマイナスな考えを持っている児童も見られた。このことから本時では、委員会活動の意義をつかませ、主体的に委員会活動に取り組むことができる児童を育成していきたいと考える。その手立てとして、中学生からのインタビューを取り入れる。小中一貫校である本校では、様々な行事を共に活動していく中学生の姿は、とても身近であり大きく影響を与える存在である。「さぐる」の場面では中学生からの、小学校時の委員会活動を振り返った内容のインタビュービデオを視聴し、委員会活動の意義を確かめていきたい。さらに、小学校での委員会活動が中学校にてどのように役立っているのかもインタビューをし、委員会活動が自己のキャリア形成につながっていることを感じさせたい。

そうすることで、よりよい意思決定を促し、自主的に実践できる児童を育成していきたいと考える。

- ・研究の視点（２） ・対話的な学びを充実させる手立て
 - ・合意形成を図ったり、意思決定をしたりする話合いの中で、様々な意見に触れ、考えを広げたり多面的・多角的に考えたりする活動の工夫

よりよい意思決定をする為には自己をしっかりと見つめ、課題を把握することが必要である。そこで、事前のアンケートを通してこれまでの委員会活動で身に付けてきたことや自分に足りていないことを振り返らせる。「つかむ」の場面にて自分や学級の友達の課題をつかみ、中学生からのインタビューにより委員会活動の意義などを知ること、様々な考えをもてるようにし、対話的な学びにつながる活発な話合いにさせたい。

「見つける」の場面にて話合いを行い、学級内で考えを共有した後、意思決定をしていく。しかし、本学級の児童は少人数のため、考えを深めることが難しい。「見つける」の場面では、個人での考えを小グループにて話合い、全体に共有していく。その際「さぐる」の場面では提示しなかった中学生からの「小学校の時に委員会活動をどのような気持ちで頑張っていたか」についての考えを提示して考えを深めていきたい。自分たちには出なかった多面的・多角的な考えを知り、その後の活動の意識決定につなげていきたい。

4 第5学年及び第6学年の評価規準

観点	よりよい生活を築くための知識・理解	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	役割を果たすことの意義を理解するとともに、自己の良さを生かしながら自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	なりたい自分に向けての解決方法を考え、話し合うことで、自己の良さを生かした意思決定をし、主体的に活動しようとしている。	なりたい自分に向けて、学級や学校生活の充実・向上のために、主体的に行動しようとしている。

5 事前の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
○委員会活動について、アンケートに書く。	・委員会活動についてのアンケートの中でこれまでの活動を振り返ることで、自分の活動態度や今までの取組などを想起させる。	なりたい自分に向けて、学級や学校生活の充実・向上のために、主体的に行動しようとしている。【主体的態度】〈アンケート〉

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

委員会活動での役割を果たすことの意義を理解し、これからどのように委員会活動を行っていきたいのかを意思決定する。

(2) 児童の活動計画

	児童の活動	指導上の留意点	資料	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導入 (10) つ か む	1 委員会活動についての 5年生、6年生のアンケートの結果を比較しながら話し合い、課題を把握する。	・5年生と6年生の委員会活動に対する思いや考えに共通点や相違点があることを着目するよう促し、課題を見付けられるようにする。	アンケートを拡大したもの	
	委員会活動を行う大切さを知り、これからどのように活動していくかを考えよう。			
展開 (15) さ ぐ る	2 中学生からのインタビュー動画を見る。 《内容》 【小学校生活での委員会活動について】 ①活動していて良かったこと、うれしかったこと ・自分が成長できたと感じた ・活動に対して喜んでくれた ・「ありがとう」と言われた ②新しい取組をする前やした後の気持ち ・どうしたら興味をもって取り組んでくれるのか ・身の回りのものからアイデアを探した ③委員会活動を行う大切さ ・学校全体を楽しく笑顔にするため ・学校のため ・自分の成長のため ④小学校での委員会活動が中学校でどのように生かしているか ・大勢の前で発言ができるようになった ・たくさんの提案ができるようになった ・意見をまとめる力がついた	・活動をしていて、良かったこと、うれしかったことを聞くことでこれからの活動の意欲につながるようにする。 ・自分たちや6年生の回答と比較しながら聞くように促す。	中学生からのインタビュー動画	

	3 インタビュー動画を見て感じたことを話し合い共有する。 ・みんな大変だと思いながら頑張っていることが分かった ・大変だけど頑張ると自分の力になるのだと思った ・相手に喜ばれたり、「ありがとう」と言われたりするとうれしい気持ちになるのは同じだと思った ・当時の6年生が頑張ってくれていたことや様々な取組があったことが分かった	・自分が感じていたこととの共通点や気が付いていなかったことなどに着目するように促す。 ・様々な工夫や努力をしていたことに気付けるよう助言する。		・インタビュー動画を見て、役割を果たしていくことの大切さを理解している。 【知識・理解】 〈観察・発言〉
	4 インタビュー動画を見て感じた委員会活動を行う大切さを確認する。 ・学校のため ・楽しい学校生活を送るため ・自分の成長のため	・中学生からのインタビュー動画から委員会活動の意義を確認し「見つける」の活動につなげていく。 ・自分たちのアンケートの結果と比較し大きな相違がないことに気付けるよう助言する。	インタビュー動画をまとめた掲示物	
見つける (10)	5 これから自分たちがどのように委員会活動を行っていけばよいかを考える。 ○自分で考えてワークシートに書く。 ・新しい取組をたくさん考える ・苦手なことにも挑戦していく ・自分の役割を忘れないようにする ・自分の活動は、最後まで頑張る ・テキパキ行動して、6年生を助ける ○班ごとに話し合う。 ○学級で話し合う。 ○中学生が委員会当時、どのような気持ちで頑張っていたのかを確認する。 ・下学年の子たちを引っ張れるように頑張ろう ・コロナ禍で様々な制限があった	・中学生のインタビュー動画をもとに考えるように助言する。 ・5年生全体としてよりよくなるような考えを出すように促す。 ・班で話し合い、考えを深められるようにしていく。 ・班ごとに出的考えを発表し、学級全体に共有していくことで「決める」を考える参考にできるようにする。 ・中学生の経験を知ること、さらに考えを深められるようにする。	ワークシート	・委員会活動で必要な力を考えている。 【思考・判断・表現】 〈観察・ワークシート〉

	ので、学校が楽しくなるような活動を意識した			
終末 (10) 決 め る	6 話し合ったことをもとに、これからどのように委員会活動に取り組んでいきたいのかを意思決定し、ワークシートに記入して発表する。 ・給食委員会で、〇年生にきれいな配膳台で気持ちよく給食の配膳を行ってもらえるように、毎週の配膳台掃除を忘れずに丁寧に行う。 ・新しい取組を考えられるように学校や家で健康についての話題やテレビを見て意識する。 ・図書委員会で、借りに来た人が気持ちよく図書室を利用できるように、当番の日しっかりと整理整頓をする。	・「見つける」で出た考えを参考にするように助言する。 ・何のために、どのような気持ちで、どのように役割を果たしていくのかを具体的に決めるように促す。 ・意思決定したものを学級で伝え合い称賛することで、活動への意欲となるようにする。	ワークシート	◎これからどのように委員会活動に取り組んでいくのかを意思決定している。 【思考・判断・表現】 〈ワークシート〉

7 事後の指導

児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】＜評価方法＞
○委員会の日や自分の活動がある日に本時で意思決定したことに取り組んでいく。 ○自分の意思決定したことが実践できているか1週間ごとに振り返り、ワークシートに記入する。 ○振り返った内容を友達と共有し、自他の頑張りを認め、称賛し合う。	・本時のワークシートを教室に掲示し、常に見たり、意識したりできるようにする。 ・振り返った内容について、帰りの会で共有することで友達の頑張りを知ったり、自分の行動に自信をもったりできるようにする。	なりたい自分に向けて、学級や学校生活の充実・向上のために、主体的に行動しようとしている 【主体的態度】 〈ワークシート〉

ステップアップ！ ～委員会活動～

委員会活動の大切さを知り、これからどのように活動していくかを考えよう。

つかむ

さぐる

【中学生へのインタビュー】

みつける

きめる

事前アンケート
の掲示

インタビュービデオをまとめた掲示

【どのように委員会活動を行っていけばよいだろう】

【これからどのように委員会活動に取り組んでいきますか】

- ・新しい取組をたくさん考える
- ・苦手なことにも挑戦していく
- ・自分の役割を忘れないようにする
- ・自分の活動は、最後まで頑張る
- ・テキパキ行動して、6年生を助ける

- ・新しい取組を考えられるように学校や家で健康についての話題やテレビを見て意識する。

【気が付いたこと】

- ・みんな忘れてしまうことがある。
- ・「ありがとう」と言われるとうれしい。
- ・全校のため、自分のためにやっている。
- ・いろいろな取組は、楽しい。

【インタビューを見て…】

- ・みんな大変だと思いながら頑張っている。
- ・新しい取組で喜んでくれるのがうれしいのは同じ。
- ・小学校で頑張ったことが中学校に行っても役立っていることが分かった。

【なぜ委員会活動をやするのか】

- ・他学年に喜んでもらうため
- ・自分の成長のため
- ・将来のため
- ・学校のため
- ・楽しく生活するため
- ・協力することを学ぶため

- ・図書委員会で、借りに来た人が気持ちよく図書室を利用できるように、当番の日にしっかりと整理整頓をする。